

## ベトナムのバッテリー産業発展と課題へ

2025年3月14日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査

### ベトナムのバッテリー産業発展と課題へ

ベトナムは豊富な鉱物資源を持ち、世界のバッテリーサプライチェーンの重要な拠点となる可能性がある。しかし、国内のバッテリー産業は発展初期段階であり、生産能力の不足や政策の課題がある。これに対応するため、政府は投資促進策や技術開発支援を進め、産業の発展を加速させる方針である。特に電気自動車（EV）市場の成長とともに、国内バッテリー生産の拡大が急務となっている。EVの普及は、バッテリーの安定供給と国際競争力強化のカギを握っており、これを支えるサプライチェーンの確立が不可欠である。

2025年2月20日にハノイで開催されたエネルギー転換に関するシンポジウムでは、専門家がベトナムのバッテリー産業の可能性と課題を議論した。政府のエネルギー転換政策の一環として、バッテリーの供給網を強化し、輸入依存を減らす取り組みが求められている。特に、EV向けバッテリーやエネルギー貯蔵システム（BESS）の開発は、国内市場のみならず、輸出産業としての成長も期待されている。

国際的には、アメリカやカナダがバッテリー産業への大規模な投資を行い、サプライチェーンの多様化を進めている。一方、中国は高品質バッテリー製造を重視し、技術輸出規制を強化している。こうした世界的な動向を踏まえ、ベトナムはバッテリー産業の発展戦略を策定し、グローバル市場に適応する必要がある。

政府は、エネルギー転換とバッテリー産業の発展を支援するため、成長戦略や政策を整備している。特に、バッテリー生産の国内体制強化、サプライチェーンの確立、国際基準に準じた環境対策が求められる。今後、研究開発やインフラ投資、国際協力の強化が、持続可能な産業発展の鍵となる。

以上